

時にはひそやかに、時には華々しく

凛として社会貢献果たそう



▲「晴れの日」を迎え…卒業生で埋まった日本武道館

2008年度卒業式・学位記授与式行われる

2008年度の専修大学卒業式・学位記授与式がサクラホール（3月22日、東京・千代田区）の日本武道館で行われた。学部卒業生、大学院修了生、専門職大学院（法科大学院）修了生あわせて4247人が「晴れの日」を迎えた。

学位記、川島記念賞が各総代に贈られたあと、日高義博学長が式辞を述べた。卒業生、修了生を代表して内田沙知子さん（経営学部）が「より良い社会を築くには、互いに思いやる『相恵相愛』の精神を深めることが大切です。それに気付かせてくれた専修大学に感謝します」と謝辞を述べた。はかま姿やスーツ姿で出席した卒業生らは式後、会場の外で待ち受けた後輩から胴上げされたり、花束を贈られたりして祝福を受けた。

一三〇一又専修

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

卒業・修了記念特集

主なニュース

- 2 定年退職される先生方からのメッセージ……
- 3 川島記念賞受賞者・大学院修了生総代……
- 4 卒業式・学位記授与式フォト特集……
- 5 思い出のキャンパスインタビュー……
- 6 石巻専修大学 学位記授与式・学生表彰……
- 7 北海道短大 卒業式・美唄市と連携協定……

学長式辞 日高 義博



思いは、関東大震災による校舎の崩壊、第二次世界大戦の戦禍など幾多の苦難にもめげず、専修人に皆々と受け継がれ、今日約25万人の卒業生を輩出し、教

専修大学は、本年9月に創立130年を迎えます。本学の前身「専修学校」は、わが国における私学の高等教育機関の魁として重要な役割を

信義と礼節をもって「光」を放て

果たしました。相馬永胤、田尻稻次郎、目賀田種太郎、駒井重格の4人の創立者たちは、明治維

この場で自らを顧みて、自分はこうだと言えらば、それは自己実現の道をすでに歩き始めていることになりましょ

また目賀田種太郎先生は、「礼節の軌道を離る可からず」という言葉を残されています。また相馬永胤先生にしろ、駒井重格先生にしろ、その生き方にサムライ・スピリッツが染みこんでいま

物事を処し、そして自分に課せられた責務を粛々と果たし、そこはかとなく光を放つこと、このような生き方を専修人の先達たちは示しています。この気風は、次の世代に伝えていかねばなりません。

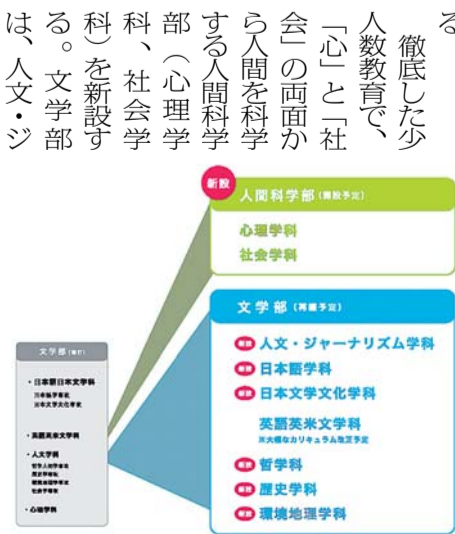
一昨年、創立者の一人（要旨）

テレホンサービス
(お知らせ・緊急連絡)
0180-994-994

本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

2010年4月、人間科学部(心理学科、社会学科)開設予定

文学部、6学科新設し、7学科編成へ



1966年の創設以来、多様な専門分野の研究教育を通じて、体系的に専門知識と幅広い教養を身につけ、柔軟な発想と豊かな人間性を兼ね備えた人材を輩出してきた文学部は、時代が求め「ジャーナリズム」を学科名に

人間科学部、誕生。文学部、6学科新設へ。



社会知性の開発をめざす 専修大学

シンボルマーク 「S」の字は、専修大学の「S」と21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)」の開発を象徴するものであり、ブルーは大海原をイメージした。それが、地球に見立てた緑の丸を包み込んでい